

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			現段階は適切だと考えております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			現段階では適切だと考えております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の構造上、限定的にしか対応できておりませんが、状況に応じてマンパワーで対応します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週1回のスタッフミーティングで意見交換をおこなっております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回実施し、サービスの質の向上に反映させております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上に公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価はできておりませんが、外部関係機関の見学等を受け入れ、その意見を参考にしながら業務改善のヒントにしております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月2回のケース会議ならびに年2回外部講師を招いた研修機会をおこなっております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングをおこない、毎回の指導の指標にしています。個別支援計画は複数名の協議を経て作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談支援用の標準的なアセスメントシートを活用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの立案は、必ずチームでおこなっております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月、子どもたちの声を反映させながら活動プログラムを作成しております。今年度は新規でロボット教室を開講しました。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		特に、休日、長期休暇に対応した特別なプログラムは立てておりません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の状況にあわせて、活動プログラムの計画をたてています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回担当者が相互に確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気になる点があった場合、その場で振り返りを実施し改善策を検討しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供時間の終了後、児発管によって振り返りと記録を実施しております。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年3回保護者との面談機会を設けています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			学びの活動のみならず、コミュニケーションやソーシャルスキルのトレーニングを組み合わせた支援をおこなっています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて児発管および支援員が参加しています。	

	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		子どもの在籍校とは必要に応じて情報共有をおこなっております。
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現段階で医療的ケアが必要な子どもはおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	対象年齢が小3~であるため該当者がおりません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて、個別対応しております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		個別の連携の他、地域のネットワーク(なんたんネットワーク会議)を主催し意見交流の場としています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		フリースクールを併用しているため、頻繁に交流機会があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		児発管、もしくは管理者、支援員が参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		気になることがあった場合、電話もしくは対面にて連絡を取り合います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		年2回、家族理解に関するトレーニング機会(親力アップ講座)を持っております。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		主に管理者や児童指導員が対応しております。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年3回程度、親の茶話会を実施しております。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		現段階で苦情はありませんが、普段のコミュニケーションや面談機会を通して意見交流をおこない苦情対応の迅速化を図りたい。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	定期的な通信等の発行はありませんが、行事ごとにお知らせを送付しております。
35		個人情報に十分注意しているか	○		全スタッフに個人情報の扱いについての注意を周知しています。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個別の障害に応じたコミュニケーションの配慮をおこなっております。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		クリスマスコンサートや出会い場などの機会を設けております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的にミーティングで虐待について話し合う機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の必要性がある子どもがいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事の提供をしておりません。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ファイリングし、いつでも閲覧できるようにしています。
--	----	----------------------------	--	---	----------------------------